

小項目ごとの検証・確認における論点整理

自己評価の区分		判断の目安
IV	年度計画を上回っている	計画の実施状況が100%超
III	概ね年度計画どおり実施している	計画の実施状況が90%超100%以下
II	年度計画を下回っている	計画の実施状況が60%超90%以下
I	年度計画を大幅に下回っている	計画の実施状況が60%以下

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター

項目 No.	H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																			
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																		
01	<p>・高度先進医療機器の計画的な更新・整備 全身用128列CT装置、X線血管造影装置（ハイブリッド手術室）、手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」（H24 導入済み）等の高度先進医療機器を計画的に更新し、整備を進めるため、中期計画期間中（平成26年度まで）の主要医療機器の更新・整備計画（平成24年度更新）に基づき、合理的・効率的な更新・整備を進める。</p>	<p>・平成25年度は、診療科・部による中長期計画及び稼働状況等を勘案し、主要医療機器の更新・整備するとともに、導入機器の稼働状況の把握と向上に努め良好な実績を出すことができた。</p> <p>・高額な機器に関しては、稼働状況・費用対効果を勘案しつつ、当センターの目指す高度医療と併せて人材育成を見据えた視点から、先進医療機器を整備し、医療の先進性と質の向上を図った。</p> <p>・代表的な更新・整備機器一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>X線CT装置</td> <td>頭部体幹部四肢等のCT撮影</td> </tr> <tr> <td>エキシマレーザー血管形成装置</td> <td>県内初導入のエキシマレーザー冠動脈形成術による治療</td> </tr> <tr> <td>ハイブリッド手術システム</td> <td>カテーテルを使った手術と外科的な手術ができる県内初となる施設</td> </tr> </tbody> </table> <p>・更新・整備を実施した機器の稼働件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3次元マッピングシステム・アブレーションシステム</td> <td>H22</td> <td>76</td> <td>87</td> <td>121</td> </tr> </tbody> </table>	時期	内容	X線CT装置	頭部体幹部四肢等のCT撮影	エキシマレーザー血管形成装置	県内初導入のエキシマレーザー冠動脈形成術による治療	ハイブリッド手術システム	カテーテルを使った手術と外科的な手術ができる県内初となる施設	機器名	年度	H23	H24	H25	3次元マッピングシステム・アブレーションシステム	H22	76	87	121	IV		<p>ハイブリッド手術システムやエキシマレーザー血管形成装置といった高度先進医療機器が整備され、順調に稼働されており評価できる。</p>
時期	内容																						
X線CT装置	頭部体幹部四肢等のCT撮影																						
エキシマレーザー血管形成装置	県内初導入のエキシマレーザー冠動脈形成術による治療																						
ハイブリッド手術システム	カテーテルを使った手術と外科的な手術ができる県内初となる施設																						
機器名	年度	H23	H24	H25																			
3次元マッピングシステム・アブレーションシステム	H22	76	87	121																			

項目 No.	H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証		
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項				自己 評価	論 点	検 証 (案)
		ガンマカメラ装置	H22	1,208	2,149	1,376		
		X線TV装置	H22	1,665	1,478	1,777		
		MR I 装置のアップグレード	H23	0	4,895	5,008		
		デジタル式房用X線撮影装置	H23	0	4,197	4,287		
		超音波診断装置	H23	0	1,820	1,822		
		内視鏡手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)	H24	—	2	50		
		X線CT装置	H25	—	—	0		
		エキシマレーザー血管形成装置	H25	—	—	30		
		ハイブリッド手術システム	H25	—	—	410		
		・主要検査機器の稼働実績件数						
		時期		H23	H24	H25		
		PET (1台)	外来	998	1,288	1,374		
			入院	73	66	86		
		MR I (2台)	外来	7,994	10,105	10,810		
			入院	1,694	2,168	2,141		
		CT (2台)	外来	22,636	24,488	27,048		
			入院	5,841	6,246	7,006		
02	<p>・長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 必要な医療従事者等を確保するため、職員採用試験の時期・回数をチェックし、計画的・効果的な採用に努める。特に、看護師採用は毎月実施する。また、引き続き年俸制を導入し、平成22年度に構築した定年退職者(医師)の再雇用制度を効果的に運用する。</p>	<p>・年度当初の看護師数を530人から571人に増員し、長時間勤務やローテーション維持並びに年次有給休暇の取得などを改善した。</p> <p>・採用試験の3回実施や、看護学校の訪問や各種ガイダンス等への参加、新聞掲載等、雇用確保のため積極的に働きかけ昨年度と比較して約1.7倍の採用ができた。(H24:51人→H25:85人)</p> <p>・年俸を定めて給与を支給する非常勤医師 8名</p>	IV	<p>職員が働きやすい環境改善に積極的に取り組んでいる。増加する患者数に対応できるよう医療スタッフの確保に努めるとともに、近隣の医療機関との役割分担・連携を図ることで適正な患者数の受入を進めるなど、医師の勤務改善にさらなる努力を期待したい。</p>				

項目 No.	H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証							
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)						
	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度に設置した「女性職員が継続して働ける病院づくり委員会」が行ったアンケートの調査結果の意見を踏まえ、平成24年度に稼働した24時間保育の充実や病児病後児保育の実施やワークシェアリングなど労務環境の改善について検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度新棟内開設予定の病児病後児保育所について具体的に検討することとし、職員のニーズを把握するため「病児・病後児保育所についてのアンケート」を実施した。(調査対象：1, 130人、回収率79.6%) 上記アンケート結果を基に病児病後児保育所開設のために必要な課題を挙げ検討した。 委員会設置と開催実績等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月</td> <td>第1回委員会開催(主な議題:①今年度の委員会の取り組みについて、②病児病後児保育所アンケート結果報告について)</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>第2回委員会開催(主な議題:①病児病後児保育所開設について、②平成25年度岐阜県医師会男女共同参画委員会による病院訪問事業について)</td> </tr> </tbody> </table>	時期	内容	9月	第1回委員会開催(主な議題:①今年度の委員会の取り組みについて、②病児病後児保育所アンケート結果報告について)	12月	第2回委員会開催(主な議題:①病児病後児保育所開設について、②平成25年度岐阜県医師会男女共同参画委員会による病院訪問事業について)			
時期	内容										
9月	第1回委員会開催(主な議題:①今年度の委員会の取り組みについて、②病児病後児保育所アンケート結果報告について)										
12月	第2回委員会開催(主な議題:①病児病後児保育所開設について、②平成25年度岐阜県医師会男女共同参画委員会による病院訪問事業について)										
	<ul style="list-style-type: none"> 7:1看護体制(看護職員の二交代制)を維持する。 	<ul style="list-style-type: none"> 看護師人数(530→571人)の増員などで、7:1看護体制を7.3%上回る体制を維持できた。 									
	<ul style="list-style-type: none"> 医師事務作業補助職員、看護事務補助職員等を配置拡充する。 [医師事務作業補助職員：48人(平成24年度)→50人、看護事務補助職員：26人(平成24年度)→31人] 15:1医師事務作業補助体制加算の取得を目指す。(現状は20:1医師事務作業補助体制加算) 	<ul style="list-style-type: none"> 医師事務作業補助(医療クーク)、病棟・外来看護事務補助(病棟等看護クーク)等を配置拡充した。 医師補助・看護補助体制の拡充状況 [医療クーク：51人、病棟等看護クーク：28人(平成25年度末)] 									
	<ul style="list-style-type: none"> 医局会や看護師長会等において、代休取得、週休日の振替を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> 看護師、技師等については、各種機会を通して、代休取得、週休日の振替を徹底した。 衛生・労働安全委員会で、長時間残業職員数を報告し、縮減するよう啓発に努めた。 長時間勤務の医師については、各担当副院長が時間外勤務時間の縮減、及び代休等への振り替えを指導し、併せて過重労働健康相談を実施した。 医局会や看護師長会等において、代休取得、週休日の振替指導を徹底した。 									

項目 No.	H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)															
		代休等取得状況 (件数) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代休取得</td> <td>18</td> <td>17</td> <td>35</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>週休日振替</td> <td>457</td> <td>691</td> <td>856</td> <td>1,083</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	H22	H23	H24	H25	代休取得	18	17	35	65	週休日振替	457	691	856	1,083			
区 分	H22	H23	H24	H25																
代休取得	18	17	35	65																
週休日振替	457	691	856	1,083																
	<ul style="list-style-type: none"> 院内保育所の在り方について職員との意見交流を図り、24時間保育の充実を行うなど、ハード・ソフトの両面から環境整備に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成13年から岐阜県総合医療センター保育施設運営協議会を設置し、医療センターに勤務する職員(非常勤職員含む)の保育事業を継続して実施している。平成24年2月1日からは、24時間保育の受け入れを開始している。 通常保育時間 7:45～19:00 (延長保育時間 7:00～22:30) 院内保育所の活用状況 最少預かり児童数 29人/月 最大預かり児童数 35人/月 平均31.9人/月 院内保育所の運営状況 (各年度末時点) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者数</td> <td>36人</td> <td>44人</td> <td>38人</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>保育士数</td> <td>8人</td> <td>8人</td> <td>10人</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 病児保育については、平成27年度に完成予定の新病棟内に、病児保育室及び病後児保育室をそれぞれ設置するよう実施計画に盛り込んだほか、運用については「女性職員が継続して働ける病院づくり委員会」において継続的に検討している。 		H22	H23	H24	H25	入所者数	36人	44人	38人	33人	保育士数	8人	8人	10人	10人			
	H22	H23	H24	H25																
入所者数	36人	44人	38人	33人																
保育士数	8人	8人	10人	10人																
	<ul style="list-style-type: none"> ハラスメント防止に向けた職員への周知活動など院内相談窓口の機能を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ハラスメントの被害相談窓口を総務課長に一本化、ハラスメント防止に関する啓発ポスターを院内各所に掲示し、周知を図っている。 																		
	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度に設置した総合相談センターを活用し、患者からの各種相談に対応できる体制を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合相談センターを設置し、患者からの各種相談に対応できる体制を強化している。 H23年度から総合受付にコンシェルジュを設置し、患者相談を含む各種問い合わせに対応できる態勢を整備している。 患者や家族から各種相談を受け付けている(相談内容: がん相談(一般、セカンドオピニオン、退院調整)、がん以外(なんでも相談、意見・苦情、 																		

項目 No.	H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																					
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																				
		セカンドオピニオン外来、退院調整。 ・患者サポート体制において毎週カンファレンスを開催できた。 ・がん拠点病院として、がん相談の専従MSWの配置充実を図った。 ・総合相談センター全体としての統一したテンプレート上の電子カルテ上の記録を整備した。 平成25年度実績件数 <table border="1"> <tr> <td>がん相談</td> <td>1, 138</td> </tr> <tr> <td> がん相談支援</td> <td>624</td> </tr> <tr> <td> セカンドオピニオン</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td> 退院調整室</td> <td>455</td> </tr> <tr> <td>がん以外の相談</td> <td>9, 966</td> </tr> <tr> <td> なんでも相談</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td> (意見・苦情</td> <td>18)</td> </tr> <tr> <td> セカンドオピニオン</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td> 退院調整室</td> <td>9, 902</td> </tr> <tr> <td>医療相談</td> <td>4, 148</td> </tr> </table>	がん相談	1, 138	がん相談支援	624	セカンドオピニオン	59	退院調整室	455	がん以外の相談	9, 966	なんでも相談	57	(意見・苦情	18)	セカンドオピニオン	7	退院調整室	9, 902	医療相談	4, 148			
がん相談	1, 138																								
がん相談支援	624																								
セカンドオピニオン	59																								
退院調整室	455																								
がん以外の相談	9, 966																								
なんでも相談	57																								
(意見・苦情	18)																								
セカンドオピニオン	7																								
退院調整室	9, 902																								
医療相談	4, 148																								
	・24時間体制で警備員を配置し、併せて「院内暴力対応マニュアル」を周知することで、院内暴力に対する取組を強化する。	・医療安全に関する研修において、患者や家族への対応についても取り上げ、実施した。																							
04	・認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進 より水準の高い看護を患者及びその家族に提供するため、認定看護師や専門看護師の資格取得を目指す看護師、また認定看護管理の資格取得を目指す管理者に対しては、中長期的に研修・講習に参加できる体制を引き続き確保する。 平成25年度 受講予定 認定看護師3名、認定看護管理5名（ファーストレベル4名、サードレベル1名） 平成25年度 資格試験予定 認定看護師3名、看護教員研修1名	・認定看護師等長期研修5カ年計画に基づき、計画的な認定看護師や専門看護師の資格取得のための研修・講習に参加できる体制を継続して確保している。 ・専門看護師数 小児看護専門看護師 2名 がん看護専門看護師 1名 ・認定看護師数 がん化学療法看護認定看護師 2名 がん性疼痛看護認定看護師 1名 感染管理認定看護師 2名 救急看護認定看護師 1名 小児救急看護認定看護師 1名 摂食・嚥下障害看護認定看護師 1名	IV	評価の検討 IV→III 業務実績としては順調であり、多くの認定看護師・専門看護師を確保しているが、年度計画を上回るものとはいえない。 IVのまま 業務実績としては順調であり、多くの認定看護師・専門看護師を確保している。また、多くの看護師が看護学会などに参加されている。	「IV」 業務実績としては順調であり、多くの認定看護師・専門看護師を確保している。また、多くの看護師が看護学会などに参加されている。																				

項目 No.	H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証							
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)						
		皮膚・排泄ケア認定看護師 3名 新生児集中ケア認定看護師 1名 集中ケア認定看護師 1名 糖尿病看護認定看護師 1名 がん放射線療法看護認定看護師 1名 (平成25年度認定登録：3名) ・研修実績									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定 看護師</td> <td> [長期] ・救急看護 H25.5.9～H26.3.5 1名 ・感染管理 H25.6.1～H26.1.31 1名 ・乳がん看護 H25.9.1～H26.3.31 1名 ※平成26年7月認定予定 [短期] ・認定看護管理制度 H24:6名→H25:3名 ・実習指導者講習会 H25年度開催なし ・医療安全研修 H24:2名→H25:0名 ・岐阜県教員養成講習会 H25:1名 </td> </tr> <tr> <td>学会等 参加</td> <td> ・日本看護学会 ・全国看護セミナー ・日本看護協会研修 ・岐阜県看護協会研修 ・その他 看護学会等 延べ H24:153→H25:312名 </td> </tr> </tbody> </table>	項 目	内 容	認定 看護師	[長期] ・救急看護 H25.5.9～H26.3.5 1名 ・感染管理 H25.6.1～H26.1.31 1名 ・乳がん看護 H25.9.1～H26.3.31 1名 ※平成26年7月認定予定 [短期] ・認定看護管理制度 H24:6名→H25:3名 ・実習指導者講習会 H25年度開催なし ・医療安全研修 H24:2名→H25:0名 ・岐阜県教員養成講習会 H25:1名	学会等 参加	・日本看護学会 ・全国看護セミナー ・日本看護協会研修 ・岐阜県看護協会研修 ・その他 看護学会等 延べ H24:153→H25:312名			
項 目	内 容										
認定 看護師	[長期] ・救急看護 H25.5.9～H26.3.5 1名 ・感染管理 H25.6.1～H26.1.31 1名 ・乳がん看護 H25.9.1～H26.3.31 1名 ※平成26年7月認定予定 [短期] ・認定看護管理制度 H24:6名→H25:3名 ・実習指導者講習会 H25年度開催なし ・医療安全研修 H24:2名→H25:0名 ・岐阜県教員養成講習会 H25:1名										
学会等 参加	・日本看護学会 ・全国看護セミナー ・日本看護協会研修 ・岐阜県看護協会研修 ・その他 看護学会等 延べ H24:153→H25:312名										
		単位：人 (各年度末時点)									

項目 No.	H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価					評価委員会の検証																				
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項					自己 評価	論 点	検 証 (案)																		
			分野	H22	H23	H24	H25																				
		認定	がん化学療法	1	1	2	2																				
			がん性疼痛	1	1	1	1																				
			感染管理	1	2	2	2																				
			救急看護	1	1	1	1																				
			小児救急	1	1	1	1																				
			摂食・嚥下障害	1	1	1	1																				
			皮膚・排泄ケア	3	3	3	3																				
			新生児集中ケア	-	1	1	1																				
			集中ケア	-	-	-	1																				
			糖尿病看護	-	-	-	1																				
			がん放射線療法 看護	-	-	-	1																				
		計		9	11	12	15																				
		専門	小児看護	-	1	2	2																				
			がん看護	-	1	1	1																				
		計		0	2	3	3																				
		合計		9	13	15	18																				
05	<p>・ コメディカルに対する専門研修の実施 診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成する。</p> <table border="1"> <tr> <td>【中央放射線部】</td> <td>希望人数と業務内容を考慮し、必要とされる資格の取得計画、研修会等への参加計画を策定した上で、各種資格取得・研修会等への参加のための支援を行う</td> </tr> <tr> <td>・ 診療放射線技師実習施設指導者講習会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 放射線治療セミナー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 放射線治療品質管理士講習会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 医学物理コース研修</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ マンモグラフィ撮影技師更新講習会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ PET研修セミナー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ I-131アブレーション講習会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ その他各種学会、研修会等への参加</td> <td></td> </tr> </table>	【中央放射線部】	希望人数と業務内容を考慮し、必要とされる資格の取得計画、研修会等への参加計画を策定した上で、各種資格取得・研修会等への参加のための支援を行う	・ 診療放射線技師実習施設指導者講習会		・ 放射線治療セミナー		・ 放射線治療品質管理士講習会		・ 医学物理コース研修		・ マンモグラフィ撮影技師更新講習会		・ PET研修セミナー		・ I-131アブレーション講習会		・ その他各種学会、研修会等への参加		<p>・ 診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成した。 特に、各部門では診療科の体制等に連携し、長期計画を策定したうえで人材の育成に努めた。</p> <p>主な参加講習会等</p> <table border="1"> <tr> <td>【中央放射線部】</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本放射線技術学会 ・ 全国自治体病院放射線部会研修会 ・ 日本放射線治療セミナー ・ 日本核医学学術総会 ・ 日本磁気共鳴医学会 ・ 医学物理士ミニマム講習会 </td> </tr> <tr> <td>【臨床検査科】</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本臨床衛生検査技師会 </td> </tr> </table>	【中央放射線部】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本放射線技術学会 ・ 全国自治体病院放射線部会研修会 ・ 日本放射線治療セミナー ・ 日本核医学学術総会 ・ 日本磁気共鳴医学会 ・ 医学物理士ミニマム講習会 	【臨床検査科】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本臨床衛生検査技師会 	IV	<p>【評価の検討】</p> <p>【IV→III】</p> <p>業務実績としては順調であるが、専門研修参加人数が薬剤師以外は減少している。</p> <p>【IVのまま】</p> <p>業務実績としては順調であり、多くのコメディカルが専門研修に参加している。</p>	<p>【IV】</p> <p>業務実績としては順調であり、多くのコメディカルが専門研修に参加している。コメディカルの専門研修後に、どのような認定資格を何人取得したかといった視点でも検証されたい。</p>
【中央放射線部】	希望人数と業務内容を考慮し、必要とされる資格の取得計画、研修会等への参加計画を策定した上で、各種資格取得・研修会等への参加のための支援を行う																										
・ 診療放射線技師実習施設指導者講習会																											
・ 放射線治療セミナー																											
・ 放射線治療品質管理士講習会																											
・ 医学物理コース研修																											
・ マンモグラフィ撮影技師更新講習会																											
・ PET研修セミナー																											
・ I-131アブレーション講習会																											
・ その他各種学会、研修会等への参加																											
【中央放射線部】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本放射線技術学会 ・ 全国自治体病院放射線部会研修会 ・ 日本放射線治療セミナー ・ 日本核医学学術総会 ・ 日本磁気共鳴医学会 ・ 医学物理士ミニマム講習会 																										
【臨床検査科】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本臨床衛生検査技師会 																										

項目 No.	H25 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)
		う。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本超音波学会 ・心臓リハビリテーション学会 ・日本臨床微生物学会 ・認定心電図検査技師講習会 ・日本輸血・細胞治療学会 ・日本心エコー図学会 			
	【臨床検査科】 <ul style="list-style-type: none"> ・細胞検査士 ・超音波検査士（循環器、消化器等） ・認定輸血検査技師 ・日本糖尿病療養指導士 ・感染制御認定臨床微生物検査技師 ・血管診療技師 ・認定心電検査技師 ・日本エコー図学会認定検査技師 ・認定一般検査技師 ・認定血液検査技師 ・認定管理検査技師 ・二級緊急臨床検査士 ・二級臨床検査技師（微生物学、病理学等） ・その他各種学会、研修会等への参加 		【薬剤センター】 <ul style="list-style-type: none"> ・日本薬剤師学術大会 ・日本病院薬剤師会実務研修会 ・日本薬品情報学会総会 ・日本薬学東海支部合同学術会議 ・日本医療薬学会 ・がん専門薬剤師集中教育講座 			
	【薬剤部】 <ul style="list-style-type: none"> ・がん専門薬剤師 ・感染制御専門薬剤師 ・糖尿病療養指導士 ・栄養サポートチーム（NST）専門療法士 ・その他各種学会、研修会等への参加 		【中央リハビリテーション部】 <ul style="list-style-type: none"> ・3学会合同呼吸療法認定士認定講習会 ・リハビリテーションのための脳神経科学入門研修会 ・日本高次脳障害学会夏期教育研修 ・岐阜呼吸管理研究会 ・摂食・嚥下障害セミナー 			
	【中央リハビリテーション部】 <ul style="list-style-type: none"> ・3学会合同呼吸療法認定士 ・心臓リハビリテーション指導士 ・AHA BLS ICLS プロバイダーコース ・その他各種学会、研修会等への参加 		【栄養センター】 <ul style="list-style-type: none"> ・日本臨床栄養学会 ・日本糖尿病・妊娠学会 ・食事療法学会 ・日本循環器学会学術集会 ・日本心臓リハビリテーション学会 ・日本病態栄養学会年次学術集会 ※H25: 病態栄養専門師資格取得者 1人			
			【臨床工学部】 <ul style="list-style-type: none"> ・日本臨床工学技士会 ・岐阜県臨床工学技士会セミナー ・岐阜県臨床工学技士会学術大会 ・医療機器安全基礎講習会（ME 技術講習会） ・透析液安全管理責任者セミナー 			

項目 No.	H25 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																										
			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																									
	<p>【栄養管理部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本糖尿病療養指導士 ・栄養サポートチーム (NST) 専門療法士 ・病態栄養専門師 ・その他各種学会、研修会等への参加 		<ul style="list-style-type: none"> ・日本人工臓器学会教育セミナー <p>コメディカル専門研修の参加人数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>78</td> <td>106</td> <td>172</td> <td>207</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>24</td> <td>80</td> <td>138</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>16</td> <td>7</td> <td>45</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>74</td> <td>112</td> <td>125</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>6</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>26</td> <td>23</td> <td>51</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>224</td> <td>343</td> <td>544</td> <td>438</td> </tr> </tbody> </table>			H22	H23	H24	H25	薬剤師	78	106	172	207	臨床検査技師	24	80	138	100	臨床工学技士	16	7	45	22	リハビリ技師	74	112	125	69	管理栄養士	6	15	13	10	放射線技師	26	23	51	30	合 計	224	343	544	438			
	H22	H23	H24	H25																																											
薬剤師	78	106	172	207																																											
臨床検査技師	24	80	138	100																																											
臨床工学技士	16	7	45	22																																											
リハビリ技師	74	112	125	69																																											
管理栄養士	6	15	13	10																																											
放射線技師	26	23	51	30																																											
合 計	224	343	544	438																																											
08	<p>・院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備 感染制御チーム (ICT) が中心となり、定期的に各部署・部門の観察、指導 (院内巡視) を行い、院内感染対策マニュアルの遵守状況について確認及び評価を行う。また、必要に応じて院内感染防止マニュアルを改訂する。その他、感染防止委員会及び感染症対策部、ICTが中心となり、全職員を対象とした研修会を年2回以上開催する。さらに、平成25年度は感染状況、抗生剤使用状況などの科学的把握を目的として、「感染制御支援システム」を導入する。</p>		<p>・ICTによる週1回の病棟ラウンドにより、環境面の改善指導を行い、環境構造の清浄化に努めた。また、手指衛生の遵守状況の確認のために、部署ごとで使用量測定を行い、手指衛生回数目標値を設定した結果、達成率は部署別に30～100%のばらつきがみられている。</p> <p>・抗菌薬については、長期使用 (10日以上)、抗MRSA薬使用患者、カルバペネム系抗菌薬使用患者を抽出し、適正使用 (量・間隔、抗菌作用) についてICTミーティングで確認、指導した。</p> <p>・新生児センターにおけるMRSA感染症による死亡事案について、感染症のICTへの報告は、感染症発生報告書を提出し、ICTでチェックを行っていたが、保菌患者の予後情報の確認がなされていなかったため、「退院サマリ」に院内感染の項目 (無し、不明) を追加して必須項目とし、ICTが確認することに改正した。</p> <p>・新生児センターにおいてMRSAアウトブレイクが発生し、約1ヶ月の新規入院を停止する対応に併せ、新生児センターにおけるMRSA対策は、以下のとおり、レベルⅠ～Ⅲの段階別に対応する新たなICTの行動基準を作成した。</p>		Ⅲ	<p>手指洗浄の目標達成に努めるとともに、院内における感染を防ぐためのハード面を含めた環境整備を検討するなど、院内感染の防止に努められたい。</p> <p>また、院内感染発生時には、新たに作成したICTの行動基準等に基づき、適切かつ速やかに対応されたい。</p>																																									

項目 No.	H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)
		<p>[レベルⅠ] 1カ月の新規MRSA保菌者が3名以上、あるいはMRSA感染症患者の確認の時点で、院長報告とともに緊急ICTミーティングを開催し、緊急に新生児センターへの介入(ラウンド)を行う。</p> <p>[レベルⅡ] 1カ月の新規MRSA保菌患者が10名以上となった場合、あるいはMRSAによる院内感染症死亡事例が確認された時点で、岐阜市保健所、岐阜県(岐阜県院内感染対策協議会)への報告・相談を行う。</p> <p>[レベルⅢ] レベルⅡの段階で同協議会からの指導を受けて感染対策を行ったにも関わらず、一定の期間のうちに院内伝播による新規保菌患者が発生した場合は、緊急の感染防止委員会を開き対策を協議するとともに、岐阜市保健所に報告、岐阜県院内感染対策協議会に調査指導を依頼、岐阜県周産期医療協議会に事前調整を依頼することとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続的にICTが感染対策に介入しており、新生児センターにおけるMRSA保菌者数や新規伝播数は減少してきている。 ・平成26年3月18日より、「感染制御支援システム」の1次稼働が開始された。 ・平成25年度、感染防止委員会主催研修会4回/年、ICTによる感染防止研修会6回/年を開催し、のべ参加人数は1,969名。参加できなかった医師については、所属部長または感染防止対策推進責任者監督下で感染防止対策に関するビデオ視聴を行い、アンケート調査にて評価した。 			

項目 No.	H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																	
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																
09	<ul style="list-style-type: none"> ・待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 ・待ち時間の実態調査（年1回の聞き取り調査及びシステムによる調査「年4回」）を実施し、平均待ち時間を5分短縮できるよう検討を行う。 ・診察の待ち時間の短縮を検討するため、各診療科の診察枠の見直し等を検討する。 ・他科の診療情報の共有、他医療機関との連携など医療体制を充実し、業務の効率化とスピード化を図る。また、診療時間の効率化など各種取組により待ち時間の改善に向けた検討を行う。 	<p>○外来待ち時間対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査・診察・治療を患者に合わせてオーダーすることによって院内滞在時間の縮減を図った。 <ol style="list-style-type: none"> ① 検査が必要な患者に対しては検査を先に実施。 ② 看護師による指導を必要とする患者に対しての指導・説明を待ち時間に実施。 ③ 入院決定患者に対する入院説明は、入院説明室を設置したことで一元化し、外来診療科での滞在時間の縮小を図った。 ④ 病診連携による紹介患者については、診察予約時間30分以内の診察を徹底した。 <p>平均待ち時間の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17分</td> <td>26分</td> <td>22分</td> <td>25分</td> </tr> </tbody> </table> <p>※患者満足度調査（アンケート）結果 ※指標を予約時間と実際に診療を開始した時間までを待ち時間とすることに変更した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・待ち時間の有効活用に向けた取り組みを実施した。 <ol style="list-style-type: none"> ① 待ち時間に待合室を離れる患者に対して、希望により携帯電話による呼び出しを行うことで、待ち時間を有効に利用していただけるよう便宜を図っている。 ② 診療科に即したパンフレットや図書を配置 ・待ち時間調査の実施 患者満足度調査にあわせて、待ち時間調査を実施（9/12）するとともに、システムによる待ち時間の把握を年4回行い、状況の把握に努めた。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>待ち時間</th> <th>～30分</th> <th>30～2時間</th> <th>2時間～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23.8月</td> <td>40.1%</td> <td>54.8%</td> <td>5.3%</td> </tr> </tbody> </table>	H22	H23	H24	H25	17分	26分	22分	25分	待ち時間	～30分	30～2時間	2時間～	H23.8月	40.1%	54.8%	5.3%	IV		待ち時間の短縮に向けて、各部門が患者目線に立ち、調査・検討を重ね対策を行ったことは評価できる。
H22	H23	H24	H25																		
17分	26分	22分	25分																		
待ち時間	～30分	30～2時間	2時間～																		
H23.8月	40.1%	54.8%	5.3%																		

項目 No.	H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																											
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項				自己 評価	論 点	検 証 (案)																									
		H24. 1 月	51.9%	42.8%	5.3%																												
		H25. 1 月	49.4%	45.9%	4.6%																												
		H26. 1 月	35.6%	56.4%	8.0%																												
		<p>※H25 年度中における待ち時間の検証 引き続き待ち時間解消への取り組みを実施しているものの、外来患者数の増加に伴い平均待ち時間は、伸びる結果となっている。</p> <p>【外来患者数】 H24 : 297,289 人→H25 : 314,349 人</p> <p>【一日平均】 H24 : 1,213 人→H25 : 1,288 人</p> <p>・支払い窓口（自動精算機）の増設 平成24年度から診療費の支払い待ち時間の短縮のため、診療費自動清算機を1台から3台に増設し、従来の支払窓口2窓と併せて5窓体制をとっている。</p> <p>○臨床検査部門</p> <p>・超音波検査（生理検査部門）技師の配置状況 H24 : 6.5 名 → H25 : 6.5 名</p> <p>・超音波検査予約枠の増設、変更 診療科からの要望に対して、予約枠の増設、変更を行なった。</p> <p>・超音波検査件数の増加（外来分） H24 : 14,737 件 → H25 : 16,361 件 (11.0%増)</p> <p>・超音波検査待ち時間の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>総数</th> <th>60分未満</th> <th>～90分</th> <th>90分超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22.4</td> <td>1,208 件</td> <td>97.4%</td> <td>2.3%</td> <td>0.3%</td> </tr> <tr> <td>H23.4</td> <td>1,292 件</td> <td>98.6%</td> <td>1.3%</td> <td>0.1%</td> </tr> <tr> <td>H24.4</td> <td>1,505 件</td> <td>98.2%</td> <td>1.7%</td> <td>0.1%</td> </tr> <tr> <td>H25.4</td> <td>1,782 件</td> <td>96.8%</td> <td>2.9%</td> <td>0.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・超音波検査件数の急激な増加により、待ち時間が延長した。</p>						総数	60分未満	～90分	90分超	H22.4	1,208 件	97.4%	2.3%	0.3%	H23.4	1,292 件	98.6%	1.3%	0.1%	H24.4	1,505 件	98.2%	1.7%	0.1%	H25.4	1,782 件	96.8%	2.9%	0.3%		
	総数	60分未満	～90分	90分超																													
H22.4	1,208 件	97.4%	2.3%	0.3%																													
H23.4	1,292 件	98.6%	1.3%	0.1%																													
H24.4	1,505 件	98.2%	1.7%	0.1%																													
H25.4	1,782 件	96.8%	2.9%	0.3%																													
	<p>・検査の効率的な実施や検査機器の稼働率向上等により、検査待ち時間の改善に向けた検討を行う。</p> <p>・臨床検査科での各種検査の精度管理を推し進め、業務や機器運用の見直しにより結果報告までの時間短縮を図る。</p> <p>・中央採血室における採血待ちや心電図、超音波の待ち時間短縮に努める。</p>																																

項目 No.	H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																			
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																																		
		<p>・中央採血室：採血開始時間を8時00分に繰り上げたことにより待ち時間の短縮が認められた。</p> <p>○中央放射線部門</p> <p>・CT検査予約枠変更 CT検査を、2台の装置毎に検査内容で振り分ける予約枠に変更し、より有効的な運用による待ち日数の短縮を図った。</p> <p>・MR検査数増加への対応 予約検査待ち日数解消のため、時間外検査枠を増設し待ち日数の短縮を図る。また、MRI装置のアップグレードを行ったことによる検査数が大幅に増加し、待ち日数が短縮された。</p> <p>・検査件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>CT 外来</th> <th>CT 入院</th> <th>MR 外来</th> <th>MR 入院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>22,636</td> <td>5,841</td> <td>7,994</td> <td>1,693</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>24,488</td> <td>6,256</td> <td>10,115</td> <td>2,168</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>27,048</td> <td>7,062</td> <td>10,810</td> <td>2,141</td> </tr> </tbody> </table> <p>・検査待ち日数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>10日</td> <td>7日</td> <td>4日</td> <td>4日</td> </tr> <tr> <td>MRI</td> <td>17日</td> <td>21日</td> <td>14日</td> <td>12日</td> </tr> </tbody> </table> <p>・平成23年度に総合麻酔センターを設置し、麻酔医4名から6名へ増員し機能を強化した。平成25年度は、手術部の問題点の抽出に努め、手術枠の効率的な運用を考え実施することで、手術件数を増大させ（目標値6,200件）手術待ち時間の改善につなげる。</p> <p>・手術の内容に応じた手術枠の弾力的運用、手術機材のキット化（あらかじめセットしている状態）を促進したことによる準備期間の短縮及び麻酔科医の増員により、手術室稼働率の向上を図り手術待ち時間を短縮できた。</p> <p>時間内手術室稼働率・総手術件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働率 (%)</td> <td>55.2</td> <td>56.9</td> <td>62.9</td> <td>61.2</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>5,407</td> <td>5,614</td> <td>6,029</td> <td>6,506</td> </tr> </tbody> </table>		CT 外来	CT 入院	MR 外来	MR 入院	H23	22,636	5,841	7,994	1,693	H24	24,488	6,256	10,115	2,168	H25	27,048	7,062	10,810	2,141		H22	H23	H24	H25	CT	10日	7日	4日	4日	MRI	17日	21日	14日	12日		H22	H23	H24	H25	稼働率 (%)	55.2	56.9	62.9	61.2	件数	5,407	5,614	6,029	6,506			
	CT 外来	CT 入院	MR 外来	MR 入院																																																			
H23	22,636	5,841	7,994	1,693																																																			
H24	24,488	6,256	10,115	2,168																																																			
H25	27,048	7,062	10,810	2,141																																																			
	H22	H23	H24	H25																																																			
CT	10日	7日	4日	4日																																																			
MRI	17日	21日	14日	12日																																																			
	H22	H23	H24	H25																																																			
稼働率 (%)	55.2	56.9	62.9	61.2																																																			
件数	5,407	5,614	6,029	6,506																																																			

項目 No.	H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																										
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																									
18	<p>・近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</p> <p>本院と地域の病院・診療所がそれぞれの特性を生かしながら機能分担し、患者が病状に即した医療を受診できるよう地域全体で協力し、ケアしていくため、地域の医療機関との連携及び協力体制の更なる充実を図るとともに、「地域医療支援病院」として、紹介率（50%以上）、逆紹介率（70%以上）の安定的な維持をめざす。</p> <p>また、開放型病床未登録医療機関に対して、登録を積極的に依頼していく。</p>	<p>・近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率は年度計画を達成し、地域医療支援病院として、地域医療の中核機能を果たした。</p> <p>紹介率・逆紹介率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>61.5%</td> <td>61.8%</td> <td>63.3%</td> <td>64.2%</td> </tr> <tr> <td>紹介実件数</td> <td>13,330 件</td> <td>13,538 件</td> <td>14,524 件</td> <td>15,079 件</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>73.4%</td> <td>72.7%</td> <td>75.7%</td> <td>78.1%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実件数</td> <td>16,937 件</td> <td>16,867 件</td> <td>18,488 件</td> <td>19,587 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・地域医療連携推進協議会の開催 当院の地域医療の現状と医療連携に係る問題点等について意見交換を実施した。</p> <p>第1回：平成25年6月24日 第2回：平成25年9月4日 第3回：平成25年12月9日 第4回：平成26年3月11日</p>		H22	H23	H24	H25	紹介率	61.5%	61.8%	63.3%	64.2%	紹介実件数	13,330 件	13,538 件	14,524 件	15,079 件	逆紹介率	73.4%	72.7%	75.7%	78.1%	逆紹介実件数	16,937 件	16,867 件	18,488 件	19,587 件	IV		<p>紹介率・逆紹介率ともに高い水準で維持されており、近隣の医療機関との役割分担、連携強化を推進したことは高く評価できる。紹介率の維持・向上にさらに努力されたい。</p>
	H22	H23	H24	H25																										
紹介率	61.5%	61.8%	63.3%	64.2%																										
紹介実件数	13,330 件	13,538 件	14,524 件	15,079 件																										
逆紹介率	73.4%	72.7%	75.7%	78.1%																										
逆紹介実件数	16,937 件	16,867 件	18,488 件	19,587 件																										

項目 No.	H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証							
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)						
26	<p>・重症心身障がい児病棟と小児救急医療重症心身障がい児のための入所病床（30床）を新規整備し、それに併せて小児医療分野の専門性の高い診察・検査・治療を行うための機能の集積及び外来化学療法部門などの機能を充実させた6階建ての新棟を整備する。</p> <p>工期：平成25年10月～平成27年12月</p> <p>また、P I C U（小児集中治療室）において、2床を稼働し、小児救急医療を推進する。</p>	<p>・平成25年9月に入札を行い、平成25年9月から平成27年12月までの工期で契約した。平成25年度は工事準備、掘削、杭打ち等で計画通り工事を進捗させた。</p> <p>・重症心身障がい児病棟整備・運営を推進する責任医師を明確にするとともに、医師や看護師、コメディカル等の診療体制について検討した。</p> <p>また、昨年度に引き続き、先進地の視察や研究研修を行うとともに、看護スタッフを含めた院内勉強会を実施し、職員育成に努めた。</p> <p>○先進地視察</p> <p>神奈川県立こども医療センター 医師：4名、看護師2名、事務6名</p> <p>信濃医療福祉センター 医師：4名、看護師2名、コメディカル2名、事務5名</p> <p>○研究研修</p> <p>国立精神・神経医療研究センター 医師：1名（6ヶ月派遣）</p> <p>日本重症心身障害学会学術研修会 看護師：1名 重症障害児（者）医療講習会 看護師：2名</p> <p>・県と協力して小児医療に携わる医師確保を推進した。看護師については、採用時に重症心身障がい児病棟の新設を考慮して、人材確保を目的に募集を行った。</p> <p>・P I C U（2床）における病床稼働状況 590人日 稼働率80.82%</p>	III		平成27年度中の新棟のオープンまでに、障がい児の疾患、数などの情報収集や分析を行い、小児医療の拠点として運営がなされるよう検討・準備に努められたい。						
35	<p>・医学生、看護学生の実習受入れ</p> <p>県内医療従事者の育成を図るため、医学生、看護学生の実習の受入れ体制を整備し、今後も積極的に実習を受け入れる。</p> <p>平成24年度実績</p> <table border="1" data-bbox="183 1311 654 1426"> <tr> <td>医学生の病院見学</td> <td>H24.4～H25.2 延べ65名</td> </tr> <tr> <td>看護学生等(10校)</td> <td>H24.4～H25.2 延べ9,730名</td> </tr> </table>	医学生の病院見学	H24.4～H25.2 延べ65名	看護学生等(10校)	H24.4～H25.2 延べ9,730名	<p>・研修生の受け入れ実績は下記のとおりである。</p> <p>・医学生は前年実績を上回ったものの、岐阜県立衛生専門学校の看護学生数の減少により、実習受入数は減少したものの、計画どおりに実施できた。</p> <p>平成25年度実績</p> <table border="1" data-bbox="676 1369 1120 1410"> <tr> <td>医学生の病院見学</td> <td>年間延べ95名</td> </tr> </table>	医学生の病院見学	年間延べ95名	III		看護学生の実習受け入れ数が非常に多く、県内医療従事者の育成に寄与しており評価できる。
医学生の病院見学	H24.4～H25.2 延べ65名										
看護学生等(10校)	H24.4～H25.2 延べ9,730名										
医学生の病院見学	年間延べ95名										

項目 No.	H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																				
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		自己 評価	論 点	検 証 (案)																																		
		看護学生 ・岐阜県立衛生専門学校 ・岐阜県立看護大学 ・平成医療短期大学 ・岐阜大学医学部看護学科 ・岐阜医療科学大学 ・弥富看護学校 他 年間延べ 10,984名																																						
		学生の実習受入状況 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生</td> <td>78</td> <td>93</td> <td>96</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>看護学生</td> <td>10,673</td> <td>10,820</td> <td>9,676</td> <td>10,984</td> </tr> <tr> <td>コメディ カル</td> <td>67</td> <td>68</td> <td>96</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>10,818</td> <td>10,981</td> <td>9,868</td> <td>11,161</td> </tr> </tbody> </table>			H22	H23	H24	H25	医学生	78	93	96	95	看護学生	10,673	10,820	9,676	10,984	コメディ カル	67	68	96	82	合 計	10,818	10,981	9,868	11,161												
	H22	H23	H24	H25																																				
医学生	78	93	96	95																																				
看護学生	10,673	10,820	9,676	10,984																																				
コメディ カル	67	68	96	82																																				
合 計	10,818	10,981	9,868	11,161																																				
38	<p>・医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援</p> <p>平成24年度は、岐阜県立下呂温泉病院（小児科：1名、循環器内科・呼吸器内科・消化器内科：1人/年間、内科：1人/週1回当直）、久々野診療所（内科：1人/週1回）、高山赤十字病院（外科：1名、循環器内科：1名、小児循環器：1人/月1回、新生児内科：1人/1日）、下呂市立金山病院（外科：1人/月1回当直）、揖斐厚生病院（循環器内科：1名）、坂内国保診療所（循環器内科：1人/月1回半日）、郡上市市民病院（循環器内科：1人/月2回当直・午前診）、中濃厚生病院（循環器内科：1人/月1回半日）において診療における人的支援を行った。</p> <p>今後も地域医療支援の機能を果たすため、引き続き医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援を継続する。</p>	<p>・平成25年度は、県立下呂温泉病院（30名）、高山赤十字病院（7名）、揖斐厚生病院（7名）、久美愛厚生病院（1名/月2回）、下呂市立金山病院（1名/月1回）、中濃厚生病院（1名/週1回・1名/年4回）、郡上市市民病院（1名/月2回・1名/週1回）、木沢記念病院（4名）、東白川診療所（1名/週1回）等において診療における人的支援を行った。</p> <p>他の医療機関への人的支援の状況（延べ日数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣先医療機関名</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立下呂温泉病院</td> <td>399</td> <td>461</td> <td>548</td> <td>591</td> </tr> <tr> <td>高山赤十字病院</td> <td>447</td> <td>244</td> <td>504</td> <td>288</td> </tr> <tr> <td>揖斐厚生病院</td> <td>—</td> <td>21</td> <td>245</td> <td>225</td> </tr> <tr> <td>下呂市立金山病院</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>木沢記念病院</td> <td>28</td> <td>224</td> <td>—</td> <td>244</td> </tr> <tr> <td>東海中央病院</td> <td>94</td> <td>—</td> <td>62</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	派遣先医療機関名	H22	H23	H24	H25	県立下呂温泉病院	399	461	548	591	高山赤十字病院	447	244	504	288	揖斐厚生病院	—	21	245	225	下呂市立金山病院	12	12	12	12	木沢記念病院	28	224	—	244	東海中央病院	94	—	62	—	IV		<p>医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への医師派遣を毎年積極的に継続しており、へき地医療への貢献は高い。</p>
派遣先医療機関名	H22	H23	H24	H25																																				
県立下呂温泉病院	399	461	548	591																																				
高山赤十字病院	447	244	504	288																																				
揖斐厚生病院	—	21	245	225																																				
下呂市立金山病院	12	12	12	12																																				
木沢記念病院	28	224	—	244																																				
東海中央病院	94	—	62	—																																				

項目 No.	H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																			
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項				自己 評価	論 点	検 証 (案)																	
		東白川診療所	—	9	—	24																			
		久々野診療所	—	—	43	—																			
		坂内村国民健康保険診療所	—	—	45	—																			
		郡上市民病院	—	—	31	73																			
		中濃厚生病院	—	—	25	54																			
		合 計	980	971	1,515	1,511																			
50	<p>・効果的な体制による医療の提供 常勤以外の雇用形態を含む多様な専門職の活用など、効果的な体制による医療の提供に努める。 特に、医療職サポートシステム（医師事務作業補助職員：48人（平成24年度）→50人、看護事務補助職員：26人（平成24年度）→31人）の強化、充実を図る。</p>	<p>・医療職サポートシステムの強化、充実を図るため各種クランクを採用した。 医師・看護事務作業補助者数（各年3.31）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師クランク</td> <td>20</td> <td>38</td> <td>48</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>看護クランク</td> <td>16</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>36</td> <td>64</td> <td>74</td> <td>79</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	H25	医師クランク	20	38	48	51	看護クランク	16	26	26	28	合 計	36	64	74	79	IV	<p>評価の検討</p> <p>IV→III</p> <p>各種クランクを順調に増員しており、医師などの業務負担の軽減を図っているものの、看護クランクの増員について年度計画を達成していない。</p> <p>IVのまま</p> <p>各種クランクを順調に増員しており、医師などの業務負担の軽減を図っていることは評価できる。</p>	<p>III</p> <p>順調に各種クランクを増員し、医師などの業務負担の軽減を図っているものの、看護クランクの増員について年度計画を達成していない。</p>
	H22	H23	H24	H25																					
医師クランク	20	38	48	51																					
看護クランク	16	26	26	28																					
合 計	36	64	74	79																					
56	<p>・未収金の発生防止対策等 診療費に係る未収金の発生防止対策として、緊急に入院となった患者への面談を実施することで保険確認や支払相談に早期に着手することで未収金発生の未然防止を徹底する。また、平成23年10月から導入した入院患者に対する退院時請求・支払が行える体制を定着化させるとともに支払に関する相談に応じる体制も確保する。やむなく未収金となった場合には、支払計画の作成を促すとともにその履行を確認し、早期の督促、催告を実施する。あわせて回収が困難と見込まれる未収金については、平成22年度末から実施した債権回収業務（弁護士法人）にその処理を委託し効果的、効率的な未収金回収に努める。</p>	<p>○発生防止</p> <p>・入院説明室（H26.1入院説明室から名称変更）で、入院決定時に概算費用の提示や福祉制度の説明など医療相談員への仲介を実施した。また、入院患者には原則として限度額認定証の提示を求めていることを説明し、その手続きを依頼した。</p> <p>・医療相談員により、救急搬送患者に対する身元確認、保険確認を早期に行い、医療保険制度の活用を紹介するなど高額な患者負担額とならないよう努めた。</p> <p>・出産に伴う入院費について、出産一時金直接払制度を全ての出産について利用していただくよう徹底を図った。制度の利用が困難な事案については、医療相談員の介入を早期に実施し、退院時の</p>	IV		<p>未収金対策によく努力している。回収に関し、様々な方法を試みて、回収率アップにつなげていることは評価できる。</p>																				

項目 No.	H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																	
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																
		<p>支払が出来るよう支援を行った。</p> <p>○回収</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月2回、定期的に督促状を發布し、早期に未収金回収に着手した。 ・督促状發布後、随時催告状を発送するとともに必要に応じ夜間電話催告や臨宅催告を行った。 ・未納者が受診した際には、面談による納付催告実施した。 ・回収困難な未収金について、弁護士法人に回収業務を委託し、回収の実績を上げた。 <p>○回収実績（各年3月時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託金額</td> <td>64,558 千円</td> <td>106,970 千円</td> <td>116,670 千円</td> </tr> <tr> <td>回収金額</td> <td>14,304 千円</td> <td>30,185 千円</td> <td>41,496 千円</td> </tr> <tr> <td>回収率</td> <td>22.1%</td> <td>28.2%</td> <td>35.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○センター全体の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未収金対策部会（H22.12 設置）がリーダーシップをとり、現状把握、回収・発生防止を病院全体で行った。 ・病棟による支払確認後に退院させるようにし、休日退院患者に対し、可能な場合は退院前に入院費の計算を行い、請求する体制をとり、成果を上げた。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療相談員を2人増員し、各種医療相談への対応を充実させた。（H22 から） ・クレジットカード決済を導入（H22.7）し、支払機会の拡大を図ることで、入院費などの高額な支払が円滑に出来るよう体制を整えた。 		H24	H25	H26	委託金額	64,558 千円	106,970 千円	116,670 千円	回収金額	14,304 千円	30,185 千円	41,496 千円	回収率	22.1%	28.2%	35.5%			
	H24	H25	H26																		
委託金額	64,558 千円	106,970 千円	116,670 千円																		
回収金額	14,304 千円	30,185 千円	41,496 千円																		
回収率	22.1%	28.2%	35.5%																		

項目 No.	H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																								
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																							
		<p>○クレジットカード利用実績割合 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>3.29</td> <td>4.90</td> <td>6.95</td> <td>9.65</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>11.20</td> <td>14.76</td> <td>18.30</td> <td>21.16</td> </tr> </tbody> </table> <p>※全体の支払件数、金額に占めるクレジットカード利用率</p> <p>未収金発生状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H24</th> <th colspan="2">H25</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年分</td> <td>763</td> <td>73,554</td> <td>740</td> <td>66,185</td> </tr> <tr> <td>現年分</td> <td>372</td> <td>19,796</td> <td>368</td> <td>24,797</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,135</td> <td>93,350</td> <td>1,108</td> <td>90,982</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度、翌年5月31日現在の数値 ※H24年度からH25年度で医業収益が1,113百万円増加したことにより、H25年度に新規で発生した未収金は、H24年度に比較して約50百万円増加した。</p>		H22	H23	H24	H25	件数	3.29	4.90	6.95	9.65	金額	11.20	14.76	18.30	21.16		H24		H25		件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	過年分	763	73,554	740	66,185	現年分	372	19,796	368	24,797	合 計	1,135	93,350	1,108	90,982			
	H22	H23	H24	H25																																								
件数	3.29	4.90	6.95	9.65																																								
金額	11.20	14.76	18.30	21.16																																								
	H24		H25																																									
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)																																								
過年分	763	73,554	740	66,185																																								
現年分	372	19,796	368	24,797																																								
合 計	1,135	93,350	1,108	90,982																																								
59	<p>「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを旨とする。</p>	<p>「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、経常収支比率103.2%、及び職員給与費対医業収益比率47.4%と年度計画を上回る結果となった。</p> <p>経常収支比率・職員給与費対医業収益比率 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支</td> <td>97.2</td> <td>98.8</td> <td>103.1</td> <td>103.2</td> </tr> <tr> <td>職員給与費</td> <td>47.4</td> <td>47.2</td> <td>47.2</td> <td>47.4</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	H25	経常収支	97.2	98.8	103.1	103.2	職員給与費	47.4	47.2	47.2	47.4	IV		<p>経常収支比率が100%を大きく上回っているなど、年度計画を達成した経営努力は評価できる。</p>																								
	H22	H23	H24	H25																																								
経常収支	97.2	98.8	103.1	103.2																																								
職員給与費	47.4	47.2	47.2	47.4																																								